

分野	専門分野	授業科目名	基礎看護学概論	単位	時間	担当講師
対象学年	1年生	開講時期	前期	1	30	(実務経験あり)
【学習目標】 ○ 人間・健康・環境・看護の概念を理解する ○ 看護の対象を理解する ○ 看護の歴史を学ぶ ○ 看護における倫理を理解する ○ 看護活動の場、看護をめぐる制度と政策を理解する						【評価方法】 筆記試験 等
回数	時間(分)	学 習 内 容		方 法	備 考	
1	90	導入 (科目の位置づけ, これからの予定など)		講義		
2	90	看護へ導入		講義		
3	90	4つのkeywords GW (1)		GW		
4	90	GW (2)		GW		
5	90	GW (3)		GW		
6	90	GW (4)		GW		
7	90	発表 (1)		講義		
8	90	発表 (2)		講義		
9	90	発表 (3)		講義		
10	90	GW (1) 6課題より		GW		
11	90	GW (2)		GW		
12	90	GW (3)		GW		
13	90	発表		講義		
14	90	講評 まとめ		講義		
15	90	総まとめ		講義		
【テキスト・参考書・使用教材】 系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学1 看護学概論 (医学書院) フロレンス・ナイチンゲール 看護覚え書 (現代社) ヴァージニア・ヘンダーソン 看護の基本となるもの (日本看護協会出版会)						

分野	専門分野	授業科目名	基礎看護学方法論Ⅰ ヘルスアセスメント	単位	時間	担当講師
対象学年	1年生	開講時期	前期～後期	1	30	(実務経験あり)
【学習目標】 ○ヘルスアセスメントの意義と目的を理解する ○人々の健康状態を正確に観察する技術を習得する						【評価方法】 筆記試験 課題提出 参加度
回数	時間(分)	学習内容		方法	備考	
1	90	看護におけるヘルスアセスメント		講義 GW		
2	90	セルフケア能力のアセスメント		講義 GW		
3	90	フィジカルアセスメントに必要な技術 全体の概観(問診・触診・聴診・打診)		講義 GW		
4	90	バイタルサインを観察する意義と アセスメント		講義 GW		
5	90	バイタルサインの観察とアセスメント		演習		
6	90	バイタルサインの観察とアセスメント 身体計測		演習 動画視聴	※終講後バイタルサイン 測定の技術試験を実施	
7	90	系統別フィジカルアセスメント 呼吸器系		講義・演習		
8	90	系統別フィジカルアセスメント 循環器系		講義		
9	90	系統別フィジカルアセスメント 腹部		講義・演習		
10	90	系統別フィジカルアセスメント 筋・骨格系		講義		
11	90	系統別フィジカルアセスメント 神経系		講義		
12	90	系統別フィジカルアセスメント 頭頸部と感覚器		講義		
13	90	系統別フィジカルアセスメント 乳房・腋窩		講義		
14	90	系統別フィジカルアセスメント 外皮系、心理社会面		講義		
15	90	まとめ		講義・演習		
【テキスト・参考書・使用教材】 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学2 基礎看護技術Ⅰ (医学書院) 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学3 基礎看護技術Ⅱ (医学書院) 竹尾恵子監修 看護技術プラクティス 第4版 (学研) 医療情報科学研究所編集 看護がみえるVol.3 (MEDIC MEDIA) eナーストレーナー 電子教材						

分野	専門分野	授業科目名	基礎看護学方法論Ⅱ 看護過程展開	単位	時間	担当講師
対象学年	1年生	開講時期	後期	1	30	(実務経験あり)
【学習目標】 ○ 看護過程を用いることの意義を理解する ○ 看護過程の基盤となる考え方を理解する ○ 看護過程の各段階の基本的な考え方と実際を学ぶ ○ 看護記録の目的、構成、留意点について理解する ○ ロイ適応看護理論を用いた看護過程展開について理解する						【評価方法】 筆記試験 等
回数	時間(分)	学 習 内 容		方 法	備 考	
1	90	看護過程とは何か		講義・演習		
2	90	看護過程の基盤		講義・演習		
3	90	ロイ適応理論を活用した看護過程の方法①		講義・演習		
4	90	ロイ適応理論を活用した看護過程の方法②		講義・演習		
5	90	行動のアセスメント① アセスメントガイドを理解しよう		講義・GW 演習(事例検討)		
6	90	行動のアセスメント②		講義・GW 演習(事例検討)		
7	90	行動のアセスメント③		講義・GW 演習(事例検討)		
8	90	行動のアセスメント④		講義・GW 演習(事例検討)		
9	90	刺激のアセスメント①		講義・GW 演習(事例検討)		
10	90	刺激のアセスメント②		講義・GW 演習(事例検討)		
11	90	刺激のアセスメント③		講義・GW 演習(事例検討)		
12	90	介入計画の立案②		講義・GW 演習(事例検討)		
13	90	介入計画の立案③		講義・GW 演習(事例検討)		
14	90	関連図を書いてみましょう①		講義・GW 演習(事例検討)		
15	90	まとめ (行動のアセスメント・刺激のアセスメント・関連図・介入計画について再説明) 評価について(紙面 説明)		講義・GW 演習(事例検討)		
【テキスト・参考書・使用教材】 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学2 基礎看護技術Ⅰ (医学書院) 小田正枝著 ロイ適応看護理論の理解と実際 (医学書院) ロイ適応看護論入門 (医学書院) 看護診断ハンドブック 第11版 (医学書院)						

分野	専門分野	授業科目名	基礎看護学方法論Ⅲ 日常生活援助技術Ⅰ (環境,安全・安楽)	単位	時間	担当講師
対象学年	1年生	開講時期	前期	1	30	(実務経験あり)
【学習目標】					【評価方法】	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 患者を取りまく環境を理解し、療養環境を整える技術を習得する ○ 医療における患者の安全を守る基本的な知識・技術を習得する 					筆記試験 課題レポート 参加度	
回数	時間(分)	学 習 内 容		方 法	備 考	
1	90	療養生活の環境について		講義		
2	90	病床環境 環境整備の実際について		講義		
3	90			演習		
4	90	ベッドメイキングの手順と根拠・動画視聴		講義		
5	90	リネン交換の手順・動画視聴		講義		
6	90	ベッドメイキングの実際 環境整備の実際		演習		
7	90	ベッドメイキングの実際 環境整備の実際		演習		
8	90			演習		
9	90	医療安全/医療事故防止対策の基本①		講義		
10	90	医療安全/医療事故防止対策の基本②		講義		
11	90	医療安全/医療事故防止対策の基本② 診療の補助の事故防止		講義		
12	90	診療の補助の事故防止①		講義		
13	90	診療の補助の事故防止②		講義		
14	90	療養上の世話の事故防止		講義		
15	90	医療安全とコミュニケーション		講義		
【テキスト・参考書・使用教材】						
系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学3 基礎看護学技術Ⅱ (医学書院) 竹尾恵子 看護技術プラクティス第4版 (学研) フロレンス・ナイチンゲール 看護覚え書 第7版 (現代社)						

分野	専門分野	授業科目名	基礎看護学方法論Ⅳ 日常生活援助技術Ⅱ (食・排泄)	単位	時間	担当講師
対象学年	1年生	開講時期	前期	1	30	(実務経験あり)
【学習目標】 ○ 栄養と食事の意義を理解し、基本的な知識・技術を習得する ○ 排泄の意義を理解し、基本的な知識・技術を習得する					【評価方法】 筆記試験：60点 参加度・ 課題点：40点 /合計：100点	
回数	時間(分)	学 習 内 容		方 法	備 考	
【 食 】						
1	90	人間にとっての食事の意義、食事と食行動		講義・GW		
2	90	摂食能力・栄養状態のアセスメント、食事の種類		講義・GW		
3	90	摂食・嚥下訓練		講義・演習		
4	90	非経口的栄養摂取の援助		講義・演習		
5	90	臥床患者の食事介助		講義・演習		
6	90	臥床患者の食事介助		講義・演習		
【 排泄 】						
7	90	排泄の意義・アセスメント		講義・GW		
8	90	自然排尿・自然排便を促す援助		講義・GW		
9	90	床上排泄援助の方法		講義・GW		
10	90	床上排泄援助の実際		演習		
11	90	床上排泄援助の実際		演習		
12	90	排便を促す援助 (グリセリン浣腸・摘便)		講義・演習		
13	90	ストーマケア		講義・演習		
14	90	導尿 (一時的導尿・持続的導尿)		講義・演習		
15	90	導尿 (一時的導尿・持続的導尿)		講義・演習		
【テキスト・参考書・使用教材】 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学3 基礎看護技術Ⅱ (医学書院) 竹尾恵子監修 看護技術プラクティス第4版 (学研)						

分野	専門分野	授業科目名	基礎看護学方法論Ⅴ 日常生活援助技術Ⅲ (清潔・衣生活)	単位	時間	担当講師
対象学年	1年生	開講時期	後期	1	30	(実務経験あり)
【学習目標】 ○ 対象の健康状態に応じた日常生活の援助について理解する ○ 清潔と衣生活の意義を理解し、基本的な技術を修得する						【評価方法】 筆記試験：60点 課題点：30点 態度点：10点 /合計：100点
回数	時間(分)	学 習 内 容		方 法	備 考	
1	90	衣生活の意義		講義・演習		
2	90	清潔援助の基礎知識		講義・演習		
3	90	清潔援助の実際 ①病衣・寝衣の交換		講義・演習		
4	90	(臥床患者、持続点滴治療中の患者)				
5	90	清潔援助の実際 ②入浴・シャワー浴		講義・演習		
6	90	清潔援助の実際 ③整容 ④口腔ケア		講義・演習		
7	90					
8	90	清潔援助の実際 ⑤手浴 ⑥足浴		講義・演習		
9	90					
10	90	清潔援助の実際 ⑦洗髪		講義・演習		
11	90					
12	90	清潔援助の実際 ⑧全身清拭		講義・演習		
13	90					
14	90	清潔援助の実際 ⑨陰部洗浄		講義・演習		
15	90					
【テキスト・参考書・使用教材】 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学3 基礎看護学技術Ⅱ (医学書院) 竹尾恵子監修 看護技術プラクティス 第4版 (学研)						

分野	専門分野	授業科目名	基礎看護学方法論VI 療養を支える技術 (活動・休息・安楽・移送)	単位	時間	担当講師
対象学年	1年生	開講時期	前期	1	30	(実務経験あり)
【学習目標】						【評価方法】
<ul style="list-style-type: none"> ○ 対象の健康状態に応じた日常生活の援助について理解する ○ 成人の日常生活リズムを理解し、活動と休息の意義とメカニズムを理解する ○ 活動と休息に関わる姿勢と体位を理解し、体位の保持、安楽や睡眠への援助、移動の援助について基本的な方法を習得する 						筆記試験 レポート提出 授業の学習姿勢
回数	時間(分)	学 習 内 容		方 法	備 考	
1	90	生活をする上での活動に何があるか		講義		
2	90	ボディメカニクスの実際		講義・演習		
3	90	体位変換の理解		講義・演習		
4	90	体位変換の実際		講義・演習		
5	90	安静の意義と効果		講義・演習		
6	90	休息と睡眠の必要性		講義・演習		
7	90	移乗と移送の基礎知識		講義・演習		
8	90	車椅子への移乗と移送、 ストレッチャーでの移送		講義・演習		
9	90	車椅子への移乗と移送、 ストレッチャーでの移送		講義・演習		
10	90	車椅子への移乗と移送、 ストレッチャーでの移送		講義・演習		
11	90	車椅子への移乗と移送、 ストレッチャーでの移送		講義・演習		
12	90	車椅子への移乗と移送、 ストレッチャーでの移送		講義・演習		
13	90	褥法（温褥法と冷褥法）の理解		講義・演習		
14	90	褥法（温褥法と冷褥法）の実際		講義・演習		
15	90	まとめ		講義		
【テキスト・参考書・使用教材】						
系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学3 基礎看護技術 II (医学書院) 竹尾恵子 看護技術プラクティス第4版 (学研)						

分野	専門分野	授業科目名	基礎看護学方法論Ⅶ 診療の補助技術	単位	時間	担当講師
対象学年	1年生	開講時期	後期	1	30	(実務経験あり)
【学習目標】 ○ 診療の補助における看護の役割を理解する ○ 検査や検査に伴う処置を受ける対象を理解し、基本的な援助技術を習得する ○ 各ライフサイクルにおける薬物の投与方法について理解し習得する。 ○ 診療の補助にともなう薬物の使用方法について習得する。						【評価方法】 筆記試験：60点 課題点：20点 授業・演習時 態度点：20点 /合計：100点
回数	時間(分)	学 習 内 容		方 法	備 考	
【 診療・検査時の看護 】						
1	90	診療と看護	診察を受ける患者の援助①	講義		
2	90	診療と看護	診察を受ける患者の援助②	GW		
3	90	診療と看護	診察を受ける患者の援助③	GW		
4	90	診療と看護	診察を受ける患者の援助④	GW		
5	90	診療と看護	診察を受ける患者の援助⑤	GW・発表		
6	90	診療と看護	診察を受ける患者の援助⑥	GW・発表		
7	90	診療と看護	診察を受ける患者の援助⑦	GW・発表		
8	90	診療と看護	診察を受ける患者の援助⑧	GW・発表		
【 与薬時（薬物療法）の援助技術 】						
9	90	薬物療法を受ける患者の看護①		講義		
10	90	薬物療法を受ける患者の看護②		GW		
11	90	薬物療法を受ける患者の看護③		GW		
12	90	薬物療法を受ける患者の看護④		GW・発表		
13	90	薬物療法を受ける患者の看護⑤		GW・発表		
14	90	薬物療法を受ける患者の看護⑥		GW・発表		
15	90	薬物療法を受ける患者の看護⑦		講義・テスト	小テスト	
【テキスト・参考書・使用教材】						
系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学3 基礎看護技術Ⅱ (医学書院) 系統看護学講座 専門基礎分野 薬理学 疾病のなりたちと回復促進3 (医学書院) 系統 看護学講座 専門基礎分野 生化学 人体の構造と機能2 (医学書院) 動画 (医学書院)						

分野	専門分野	授業科目名	基礎看護学方法論Ⅷ 治療処置別看護	単位	時間	担当講師
対象学年	2年生	開講時期	前期	1	30	(実務経験あり)
【学習目標】 ○ 治療・処置等を受ける対象への援助について理解し、安全に援助を実施できる					【評価方法】 筆記試験 等	
回数	時間(分)	学 習 内 容		方 法	備 考	
1	90	呼吸を楽にする援助		講義		
2	90	酸素吸入・ネブライザー吸入		講義		
3	90	演習		演習		
4	90	吸入		講義		
5	90	救急		講義		
6	90	医療機器取扱い		講義		
7	90	放射線療法とは～人体への影響		講義		
8	90	救急・演習		講義・演習		
9	90	創傷管理・演習		講義・演習		
10	90	創傷管理・演習		講義・演習		
11	90	包帯法		講義		
12	90	輸血		講義		
13	90	安静療法		講義		
14	90	医療機器取扱い		講義		
15	90	放射線療法とは～有害事象について		講義		
【テキスト・参考書・使用教材】 適宜資料を配布する						

分野	専門分野	授業科目名	基礎看護学方法論IX コミュニケーションと指導技術	単位	時間	担当講師
対象学年	1年生	開講時期	前期～後期	1	30	(実務経験あり)
【学習目標】 ○ 対象の状況や病態を踏まえ、効果的な指導技術について理解する 看護活動に必要なコミュニケーションについて理解する						【評価方法】 筆記試験 課題レポート 授業の学習姿勢
回数	時間(分)	学 習 内 容		方 法	備 考	
1	90	コミュニケーションの意義と目的		講義		
2	90	コミュニケーションの意義と目的		講義		
3	90	関係構築のための コミュニケーションの基本		講義		
4	90	効果的コミュニケーションの 実際と理解		講義		
5	90	効果的コミュニケーションの 実際と理解		講義		
6	90	アサーティブネス		講義		
7	90	言語障害がある人との コミュニケーション		講義		
8	90	学習支援の実際		講義		
9	90	看護における教育・指導（演習）		講義・演習		
10	90	看護における教育・指導（演習）		講義・演習		
11	90	看護における教育・発表		講義・演習		
12	90	急性期の看護		講義・演習		
13	90	慢性期の看護		講義・演習		
14	90	回復期の看護		講義・演習		
15	90	終末期の看護		講義・演習		
【テキスト・参考書・使用教材】 系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学4 臨床看護総論						

分野	専門分野	授業科目名	看護研究の基礎	単位	時間	担当講師
対象学年	3年生	開講時期	前期～後期	1	30	(実務経験あり)
【学習目標】 ○ 看護研究の役割と必要性、特徴を理解する ○ リサーチクエストと研究デザインについて理解する ○ 文献検索と活用方法を理解する ○ 看護研究における倫理的行動の必要性と方法を理解する ○ 研究発表の方法を理解し、発表態度を身につける						【評価方法】 筆記試験 等
回数	時間(分)	学 習 内 容		方 法	備 考	
1	90	看護研究の意義と必要性		講義		
2	90	看護研究の種類と方法① 量的研究		講義		
3	90	看護研究の種類と方法② 質的研究		講義		
4	90	ケーススタディについて		講義		
5	90	文献活用の意義と文献検索の方法		講義		
6	90	ケーススタディの進め方①		講義		
7	90	ケーススタディの進め方②		講義		
8	90	ケーススタディの進め方③		講義		
9	90	ケーススタディの進め方④		講義		
10	90	論文のクリティークについて		講義		
11	90	ケーススタディ演習		講義		
12	90	ケーススタディ演習		講義		
13	90	ケーススタディ		講義		
14	90	ケーススタディ		講義		
15	90	ケーススタディ		講義		
【テキスト・参考書・使用教材】 適宜資料を配布する						

分野	専門分野	授業科目名	地域・在宅看護論概論 I 地域・在宅看護の特徴	単位	時間	担当講師
対象学年	1年生	開講時期	前期	1	30	(実務経験あり)
【学習目標】 ○ 地域・在宅看護の位置付けが理解できる ○ 地域で暮らす人々の暮らしと地域の理解 ○ 地域・在宅看護の必要性及び活動の場が理解できる ○ 対象者の特徴が理解できる ○ 地域・在宅看護論に関する法・制度・施策 ○ 地域で療養する対象者への看護支援が理解できる						【評価方法】 筆記試験 等
回数	時間(分)	学習内容		方法	備考	
1	90	暮らしを理解する ①		講義/演習		
2	90	暮らしを理解する ②		演習		
3	90	地域を理解する GW①		演習		
4	90	地域を理解する GW②		演習		
5	90	地域・在宅看護の対象の理解		講義/演習		
6	90	地域・在宅看護の対象の理解		講義/演習		
7	90	家族の理解 ①		講義/演習		
8	90	家族の理解 ② 家族看護		講義/演習		
9	90	地域包括支援センターの概要		講義		
10	90	地域包括ケアシステムの構築		講義		
11	90	訪問看護制度について		講義		
12	90	地域・在宅看護に関わる制度とその活用		講義/演習		
13	90	諸外国における訪問看護		講義/演習		
14	90	プライマリーヘルスケア ヘルスプロモーション		講義/演習		
15	90	プライマリーヘルスケア ヘルスプロモーション		講義/演習		
【テキスト・参考書・使用教材】 系統看護学講座 地域・在宅看護論1 地域・在宅看護の基盤 (医学書院) 系統看護学講座 地域・在宅看護論2 地域・在宅看護の実践 (医学書院)						

分野	専門分野	授業科目名	地域・在宅看護論概論Ⅱ	単位	時間	担当講師
対象学年	1年生	開講時期	後期	1	15	(実務経験あり)
【学習目標】 ○ 体験を通し、地域、暮らしと地域住民の健康課題について理解する						【評価方法】 筆記試験 等
回数	時間(分)	学 習 内 容		方 法	備 考	
1	90	「暮らし」の振り返り（個人ワーク）		講義		
2	90	発達段階別（青年期, 成人期, 老年期）グループワーク		GW		
3	90	インタビューをふまえた各期まとめ		GW		
4	90	インタビューをふまえた各期まとめ		GW		
5	90	インタビューをふまえた発表まとめ		共有学習		
6	90	各ライフサイクルにある対象の健康課題と地域において必要な看護		GW		
7	90	各ライフサイクルにある対象の健康課題と地域において必要な看護		GW		
8	45	各ライフサイクルにある対象の健康課題と地域において必要な看護		共有学習		
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
【テキスト・参考書・使用教材】 系統看護学講座 地域・在宅看護論1 地域・在宅看護の基盤（医学書院） 系統看護学講座 地域・在宅看護論2 地域・在宅看護の実践（医学書院）						

分野	専門分野	授業科目名	地域・在宅看護論方法論Ⅰ 地域・在宅療養を支える基本技術	単位	時間	担当講師
対象学年	1年生	開講時期	後期	1	30	(実務経験あり)
【学習目標】 ○ 看護実践するための基本的技術を理解する ○ 家族を支える看護を理解する ○ 在宅療養を継続する上で対象が抱える問題を理解する						【評価方法】 筆記試験 等
回数	時間(分)	学 習 内 容		方 法	備 考	
1	90	暮らしの場で看護するための心構え 1) 地域・在宅看護実践とは		講義		
2	90	暮らしの場で看護するための心構え 2) 地域・在宅看護実践に欠かせない要素		講義		
3	90	生活のアセスメント		講義		
4	90	ヘルスアセスメント①		講義		
5	90	ヘルスアセスメント②		講義		
6	90	ヘルスアセスメント③		講義		
7	90	ヘルスアセスメント④		講義		
8	90	ヘルスアセスメント⑤		講義		
9	90	ヘルスアセスメント⑥		講義		
10	90	ヘルスアセスメント⑦		講義		
11	90	療養上のリスクマネジメント①		講義		
12	90	療養上のリスクマネジメント②		講義		
13	90	療養上のリスクマネジメント③		講義		
14	90	療養上のリスクマネジメント④		講義		
15	90	まとめ		講義		
【テキスト・参考書・使用教材】 系統看護学講座 地域・在宅看護論1 地域・在宅看護の基盤 (医学書院) 系統看護学講座 地域・在宅看護論2 地域・在宅看護の実践 (医学書院)						

分野	専門分野	授業科目名	地域・在宅看護論方法論Ⅱ 暮らしの場で行われる医療処置	単位	時間	担当講師
対象学年	2年生	開講時期	前期	1	30	(実務経験あり)
【学習目標】 ○ 地域・在宅看護を実践するための基本的技術を理解する					【評価方法】 筆記試験 参加度 等	
回数	時間(分)	学 習 内 容		方 法	備 考	
1	90	暮らしの場で行われている医療処置①		講義/演習		
2	90	暮らしの場で行われている医療処置②		講義/演習		
3	90	暮らしの場で行われている医療処置③		講義/演習		
4	90	暮らしの場で行われている医療処置④		講義/演習		
5	90	暮らしの場で行われている医療処置⑤		講義/演習		
6	90	暮らしの場で行われている医療処置⑥		講義/演習		
7	90	外来がん治療の支援		講義/演習		
8	90	疼痛緩和		講義/演習		
9	90	在宅看護における病態別看護①		講義/演習		
10	90	在宅看護における病態別看護②		講義/演習		
11	90	在宅看護における病態別看護③		講義/演習		
12	90	在宅看護における病態別看護④		講義/演習		
13	90	在宅看護における病態別看護⑤		講義/演習		
14	90	在宅看護における病態別看護⑥		講義/演習		
15	90	在宅看護における病態別看護⑦		講義/演習		
【テキスト・参考書・使用教材】 系統看護学講座 地域・在宅看護論1 地域・在宅看護の基盤 (医学書院) 系統看護学講座 地域・在宅看護論2 地域・在宅看護の実践 (医学書院)						

分野	専門分野	授業科目名	地域・在宅看護論方法論Ⅲ 多職種連携と看護マネジメント	単位	時間	担当講師
対象学年	2年生	開講時期	前期～後期	1	15	(実務経験あり)
【学習目標】 ○ 療養生活支援のための多職種連携及び、地域・在宅看護マネジメントが理解できる						【評価方法】 筆記試験 等
回数	時間(分)	学 習 内 容		方 法	備 考	
1	90	主な地域・在宅看護実践の場①		講義/演習		
2	90	主な地域・在宅看護実践の場②		講義/演習		
3	90	地域・在宅看護における多職種連携①		講義/演習		
4	90	地域・在宅看護における多職種連携①		講義/演習		
5	90	地域・在宅看護における多職種連携①		講義/演習		
6	90	地域・在宅看護マネジメント①		講義/演習		
7	90	地域・在宅看護マネジメント②		講義/演習		
8	45	地域・在宅看護マネジメント③		講義/演習		
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
【テキスト・参考書・使用教材】 系統看護学講座 地域・在宅看護論1 地域・在宅看護の基盤 (医学書院) 系統看護学講座 地域・在宅看護論2 地域・在宅看護の実践 (医学書院)						

分野	専門分野	授業科目名	地域・在宅看護論方法論Ⅳ 看護過程の展開	単位	時間	担当講師
対象学年	2年生	開講時期	後期	1	15	(実務経験あり)
【学習目標】 ○ 地域・在宅看護における看護過程展開の方法を理解する						【評価方法】 筆記試験 等
回数	時間(分)	学 習 内 容		方 法	備 考	
1	90	ICFの概念を用いた看護過程の特徴①		講義/演習		
2	90	ICFの概念を用いた看護過程の特徴②		共有学習		
3	90	ICFの概念を用いた看護過程の特徴③		共有学習		
4	90	在宅看護の看護過程展開①		講義/演習		
5	90	在宅看護の看護過程展開②		共有学習		
6	90	在宅看護の看護過程展開③		共有学習		
7	90	在宅看護の看護過程展開④		共有学習		
8	45	在宅看護の看護過程展開 まとめ		講義		
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
【テキスト・参考書・使用教材】 系統看護学講座 地域・在宅看護論1 地域・在宅看護の基盤 (医学書院) 系統看護学講座 地域・在宅看護論2 地域・在宅看護の実践 (医学書院)						

分野	専門分野	授業科目名	成人看護学概論	単位	時間	担当講師
対象学年	1年生	開講時期	前期～後期	1	30	(実務経験あり)
【学習目標】 ○ 成人各期にある対象の特徴を理解する ○ 成人の生活及び健康問題について理解し、適切な健康管理について考える事ができる ○ 成人期の発達段階、生活の場に応じた健康を維持していく看護の役割について理解する ○ 成人期に特徴的な健康障害をその影響因子から理解する						【評価方法】 筆記試験 等
回数	時間(分)	学 習 内 容		方 法	備 考	
1	90	導入 (内容と進め方)		講義		
2	90	成人期にある人の理解 ①		講義		
3	90	成人期にある人の理解 ②		講義		
4	90	成人期にある人の理解 ③		講義		
5	90	成人期にある人の特徴について		講義		
6	90	成人期にある人の理解 ④		講義		
7	90	成人期にある人の理解 ⑤		講義		
8	90	成人期にある人の理解 ⑥		講義		
9	90	成人期にある人の理解 ⑦		講義		
10	90	成人期にある人の理解 ⑧		講義		
11	90	GW 発表		GW		
12	90	GW 発表		GW		
13	90	GW 発表		GW		
14	90	GW 発表まとめ 総まとめ		講義 GW		
15	90	総まとめ		講義		
【テキスト・参考書・使用教材】 系統看護学講座 専門分野 成人看護学1 成人看護学総論						

分野	専門分野	授業科目名	成人看護学方法論Ⅰ 生命の危機的状況にある成人の看護	単位	時間	担当講師
対象学年	2年生	開講時期	前期	1	30	(実務経験あり)
【学習目標】						【評価方法】
<ul style="list-style-type: none"> ○ 健康の危機的状況にある人の特徴を理解する ○ この健康状態に応じた処置・治療に伴う看護や健康障害から変化する生活状況に対応するために必要な看護が理解できる 						筆記試験 等
回数	時間(分)	学 習 内 容		方 法	備 考	
1	90	周術期看護の概論		講義		
2	90	手術後患者の看護		講義		
3	90	手術後患者の看護		講義		
4	90	周術期看護		講義		
5	90	開頭術を受ける患者の看護		講義		
6	90	急性期における看護		講義		
7	90			講義		
8	90	開頭術を受ける患者の看護		講義		
9	90	健康生活の急激な破綻から回復を促す看護		講義		
10	90			講義		
11	90	急性期における看護		講義		
12	90	開胸術を受ける患者の看護①		講義		
13	90	開胸術を受ける患者の看護②		講義		
14	90	開心術を受ける患者の看護①		講義		
15	90	開心術を受ける患者の看護②		講義		
【テキスト・参考書・使用教材】						
系統看護学講座 専門分野 成人看護学[1] 成人看護学総論 (医学書院) 系統看護学講座 専門分野 成人看護学[2] 呼吸器 (医学書院) 系統看護学講座 専門分野 成人看護学[3] 循環器 (医学書院) 系統看護学講座 専門分野 成人看護学[5] 消化器 (医学書院) 系統看護学講座 専門分野 成人看護学[7] 脳・神経 (医学書院) 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論 (医学書院) 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論 (医学書院) 疾患別看護過程の展開 (学研) 疾患別病態関連マップ (学研)						

分野	専門分野	授業科目名	成人看護学方法論Ⅱ 生涯にわたり疾病コントロールが必要な成人の看護	単位	時間	担当講師
対象学年	2年生	開講時期	前期～後期	1	30	(実務経験あり)
【学習目標】 ○ 生涯にわたり疾病コントロールを必要とする成人のもつ看護問題を理解し、対象自らセルフケアができるようになるための看護の方法を理解する						【評価方法】 筆記試験 等
回数	時間(分)	学 習 内 容		方 法	備 考	
1	90	虚血性心疾患の看護		講義		
2	90	心不全、不整脈患者の看護		講義		
3	90	心不全、不整脈患者の看護		講義		
4	90	消化吸収機能障害のある患者の看護		講義		
5	90	消化吸収機能障害のある患者の看護		講義		
6	90	消化吸収機能障害のある患者の看護		講義		
7	90	健康生活の慢性的な看護		講義		
8	90	健康生活の慢性的な看護		講義		
9	90	糖代謝に障害のある成人看護		講義		
10	90	糖代謝に障害のある成人看護		講義		
11	90	糖代謝に障害のある成人看護		講義		
12	90	糖代謝に障害のある成人看護		講義		
13	90	糖代謝に障害のある成人看護		講義		
14	90	透析療法の看護 事例検討		講義 グループワーク		
15	90	透析療法の看護 事例検討		講義		
【テキスト・参考書・使用教材】						
系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[4] 臨床看護総論 (医学書院) 系統看護学講座 専門分野 成人看護学[1] 成人看護学総論 (医学書院) 系統看護学講座 専門分野 成人看護学[3] 循環器 (医学書院) 系統看護学講座 専門分野 成人看護学[5] 消化器 (医学書院) 系統看護学講座 専門分野 成人看護学[6] 内分泌・代謝 (医学書院) 系統看護学講座 専門分野 成人看護学[8] 腎・泌尿器 (医学書院) 系統看護学講座 専門分野 成人看護学[11] アレルギー 膠原病 (医学書院) 疾患別看護過程の展開 (学研)						

分野	専門分野	授業科目名	成人看護学方法論Ⅲ 身体機能障害により生活の再獲得を余儀なくされた成人の看護	単位	時間	担当講師
対象学年	2年生	開講時期	後期	1	30	(実務経験あり)
【学習目標】 ○ 生活行動に障害のある成人の特徴と障害受容過程及び自立への看護のあり方を理解する						【評価方法】 筆記試験 等
回数	時間(分)	学 習 内 容		方 法	備 考	
1	90	人工肛門造設を受ける患者の看護		講義		
2	90	人工肛門造設を受ける患者の看護		講義		
3	90	人工肛門造設を受ける患者の看護		講義		
4	90	乳房切除を余儀なくされる患者の看護		講義		
5	90	乳房切除を余儀なくされる患者の看護		講義		
6	90	婦人科手術を受ける患者の看護		講義		
7	90	子宮の疾患		講義		
8	90	運動器に障害がある患者の看護		講義		
9	90	運動器に障害がある患者の看護		講義		
10	90	保存療法を受ける患者の看護		講義		
11	90	疾患をもつ患者の経過と看護 手術を受ける患者の看護		講義		
12	90	人工関節全置換術事例による看護展開		講義		
13	90	身体機能障害により生活の再獲得を余儀なくされた成人の看護 障害とは 受容過程 急性期		講義		
14	90	病期に応じた生活の再獲得の支援 (回復期)		講義		
15	90	病期に応じた生活の再獲得の支援 (維持期)		講義		
【テキスト・参考書・使用教材】 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[4] 臨床看護総論 (医学書院) 系統看護学講座 専門分野 成人看護学[1] 成人看護学総論 (医学書院) 系統看護学講座 専門分野 成人看護学[5] 消化器 (医学書院) 系統看護学講座 専門分野 成人看護学[9] 女性生殖器 (医学書院) 系統看護学講座 専門分野 成人看護学[10] 運動器 (医学書院) 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論 (医学書院) 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論 (医学書院) 疾患別看護過程の展開 (学研)						

分野	専門分野	授業科目名	成人看護学方法論Ⅳ 治癒困難な状態にある成人の看護	単位	時間	担当講師
対象学年	2年生	開講時期	後期	1	30	(実務経験あり)
【学習目標】 ○ 健康の危機状況にある終末期について、その対象を取り巻く状況や、この時期に体験する様々な苦痛とその緩和について理解する						【評価方法】 筆記試験 等
回数	時間(分)	学 習 内 容		方 法	備 考	
1	90	緩和ケアとは 緩和ケアの歴史 チーム医療 在宅緩和ケア		講義		
2	90	チーム医療 緩和的観察 (トータルペイン)		講義		
3	90	緩和ケアにおける倫理的課題		講義		
4	90	緩和ケアにおけるコミュニケーション と意思決定支援 緩和ケアにおける看護介入		講義		
5	90	看取りとは 悲嘆とは 家族ケアのポイント		講義		
6	90	エンゼルケア (死後の処置) ケアの実際		講義		
7	90	緩和ケアの実際 治療に伴う苦痛の緩和		講義		
8	90	治療困難な状態にある人の心理過程と その援助		講義		
9	90	症状マネジメント		講義		
10	90	癌性疼痛マネジメント		講義		
11	90	家族とは 意思決定支援		講義		
12	90	患者 家族ケア		講義		
13	90	急性骨髄性白血病患者の看護過程 展開 事例紹介 行動のアセスメント		講義		
14	90	急性骨髄性白血病患者の看護過程 展開 行動のアセスメント 刺激のアセスメント		講義		
15	90	まとめ		講義		
【テキスト・参考書・使用教材】 系統看護学講座 専門分野 成人看護学[1] 成人看護学総論 (医学書院) 系統看護学講座 専門分野 成人看護学[4] 血液・造血器 (医学書院) 系統看護学講座 別巻 緩和ケア (医学書院) 疾患別看護過程の展開 (学研) 看護診断ハンドブック (医学書院)						

分野	専門分野	授業科目名	成人看護学方法論Ⅴ 成人看護過程演習	単位	時間	担当講師
対象学年	2年生	開講時期	前期～後期	1	30	(実務経験あり)
【学習目標】 ○ 脳梗塞の患者の看護について、ロイ適応理論で、アセスメント・診断・目標・介入計画ができる ○ 患者の家族に対する援助について理解できる						【評価方法】 筆記試験 等
回数	時間(分)	学 習 内 容		方 法	備 考	
1	90	ロイ適応理論についての復習する 脳梗塞患者の病態を学習		講義・演習		
2	90	事例展開 行動のアセスメント		講義 個人ワーク		
3	90	事例展開 行動のアセスメント		講義 グループワーク		
4	90	事例展開 行動のアセスメント		講義		
5	90	事例展開 仮問題抽出 刺激のアセスメント		講義・演習		
6	90	事例展開 刺激のアセスメント 関連図		講義・演習		
7	90	介入計画立案		演習 グループワーク		
8	90	介入計画発表 提出		講義 発表		
9	90	胃切患者の看護		講義		
10	90	胃切直後の看護		講義		
11	90	胃切患者の合併症		講義		
12	90	胃切患者の観察 アセスメント		講義		
13	90	胃切患者の観察 アセスメント		講義		
14	90	胃切患者の退院支援		講義		
15	90	胃切患者の退院支援		講義		
【テキスト・参考書・使用教材】 系統看護学講座 専門分野 成人看護学[5] 消化器 (医学書院) 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論 (医学書院) 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論 (医学書院) 疾患別看護過程の展開 (学研) 経過別看護過程の展開 (学研) 看護診断ハンドブック (医学書院) ロイ適応看護理論の理解と実践 (医学書院)						

分野	専門分野	授業科目名	老年看護学概論	単位	時間	担当講師
対象学年	1年生	開講時期	後期	1	30	(実務経験あり)
<ul style="list-style-type: none"> ○ 老年看護の意義を理解する ○ 老年期にある対象の特徴を理解する ○ 老化現象が健康に及ぼす影響について理解する ○ 保健医療福祉チームにおける老年看護の機能と役割を理解する 						【評価方法】 筆記試験 等
回数	時間(分)	学 習 内 容		方 法	備 考	
1	90	導入		講義		
2	90	GW(1) 高齢者の理解と生活について		講義・GW		
3	90	GW(2)		講義・GW		
4	90	GW(3)		講義・GW		
5	90	GW(4)		講義・GW		
6	90	発表		講義・GW		
7	90	まとめ		講義		
8	90	課題学習 事例に学ぶ『心に寄り添う援助』		講義		
9	90	発表 まとめ		講義		
10	90	高齢者の健康生活とは		講義		
11	90	健康生活モデルに基づく援助方法		講義		
12	90	豊かな生涯を全うするための援助とは		講義		
13	90	傾聴の重要性と技法について		講義		
14	90	事例についてのコメント ACPについてのまとめ		講義		
15	90	死生観について GW		講義・GW		
【テキスト・参考書・使用教材】 系統看護学講座 専門分野 老年看護学 (医学書院) 適宜資料を配布する						

分野	専門分野	授業科目名	老年看護学方法論 I 高齢者の健康と日常生活を支える看護	単位	時間	担当講師
対象学年	2年生	開講時期	前期	1	30	(実務経験あり)
<ul style="list-style-type: none"> ○ 老年期の健康と生活に影響を及ぼす因子を理解する ○ 高齢者の基本的ニーズについて理解する ○ 老年者の日常生活の中で基本的ニーズを充足するための看護の果たす役割を理解する 						【評価方法】 筆記試験 等
回数	時間(分)	学 習 内 容		方 法	備 考	
1	90	日常生活を支える基本的行動		講義		
2	90	高齢者によくみられる身体症状とアセスメント		講義・演習		
3	90	健康障害をもつ高齢者の特徴と日常生活日常生活を支える基本動作		講義・演習		
4	90	転倒、廃用症候群のアセスメントと看護		講義・演習		
5	90	高齢者の生活機能を整える看護の展開 食事・食生活		講義・演習		
6	90	高齢者の生活機能を整える看護の展開 排泄		講義・演習		
7	90	高齢者の生活機能を整える看護の展開 清潔 生活リズム		講義・演習		
8	90	生活・療養の場における看護①		講義		
9	90	生活・療養の場における看護②		講義・演習		
10	90	高齢者疑似体験		演習	老人体験スーツ	
11	90	生活・療養の場における看護③		グループワーク		
12	90	高齢者とのコミュニケーションと関わり方		講義		
13	90	高齢者とのコミュニケーションと関わり方		講義・演習		
14	90	高齢者におけるリスクマネジメント		講義・演習		
15	90	高齢者におけるリスクマネジメント		講義・演習		
【テキスト・参考書・使用教材】 系統看護学講座 専門分野 老年看護学 (医学書院) 系統看護学講座 専門分野 老年看護 病態・疾患論 (医学書院)						

分野	専門分野	授業科目名	老年看護学方法論Ⅱ 健康障害のある高齢者の看護	単位	時間	担当講師
対象学年	2年生	開講時期	前期～後期	1	30	(実務経験あり)
<ul style="list-style-type: none"> ○ 健康障害が高齢者に及ぼす影響について理解する ○ 老年期にある患者・家族の経過に応じた看護を理解する ○ 老年期にある患者・家族の主要症状に応じた看護を理解する ○ 老年期にある患者・家族の特殊な状態に応じた看護を理解する 						【評価方法】 筆記試験 等
回数	時間(分)	学 習 内 容		方 法	備 考	
1	90	運動機能障害を持つ高齢者の看護		講義	貴田英司	
2	90	運動機能障害を持つ高齢者の看護		講義	貴田英司	
3	90	脳神経機能障害を持つ高齢者の看護		講義・GW	貴田英司	
4	90	脳神経機能障害を持つ高齢者の看護		講義・GW	貴田英司	
5	90	認知症のある高齢者の看護		講義	貴田英司	
6	90	認知症のある高齢者の看護		講義	貴田英司	
7	90	骨粗鬆症の患者の看護他		講義	貴田英司	
8	90	慢性疾患に付随する症候 腰背痛, 浮腫, 骨折予防		講義	松坂仁美	
9	90	排尿障害, 便秘の看護		講義	松坂仁美	
10	90	フレイル 嚥下障害の看護		講義	松坂仁美	
11	90	高齢者における終末期医療		講義	松坂仁美	
12	90	超高齢社会における老年看護への期待		講義	前田理恵	
13	90	超高齢社会における老年看護への期待		講義	前田理恵	
14	90	睡眠障害 高齢者と薬		講義	前田理恵	
15	90	抑うつへの看護		講義	前田理恵	
【テキスト・参考書・使用教材】 系統看護学講座 専門分野 老年看護学 (医学書院) 系統看護学講座 専門分野 老年看護 病態・疾患論 (医学書院)						

分野	専門分野	授業科目名	老年看護学方法論Ⅲ 看護過程の展開	単位	時間	担当講師
対象学年	2年生	開講時期	後期	1	15	(実務経験あり)
<p>○ 健康障害をもった老年期の人に対する健康問題を総合的にアセスメントし、対象に応じた看護の実践・評価ができる</p> <p>○ 老化による心身の変化及び機能障害・治療が高齢者の生活にどのように影響しているかをもとに、援助計画の立案ができる</p>						【評価方法】 筆記試験 等
回数	時間(分)	学 習 内 容		方 法	備 考	
1	90	大腿骨頸部骨折患者の看護事例検討 行動のアセスメントを分類する		個人ワーク	事例と課題紹介	
2	90	大腿骨頸部骨折患者の看護事例検討 行動のアセスメントを行う		個人ワーク	看護過程の展開について習得する	
3	90	大腿骨頸部骨折患者の看護事例検討 仮問題をグループで話し合う		グループワーク		
4	90	大腿骨頸部骨折患者の看護事例検討 刺激のアセスメントを実施して 焦点刺激を話し合う 関連図を書く		グループワーク 関連図は個人ワーク		
5	90	大腿骨頸部骨折患者の看護事例検討 具体的介入計画の検討		グループワーク		
6	90	大腿骨頸部骨折患者の看護事例検討 具体的介入計画の立案		グループワーク		
7	90	大腿骨頸部骨折患者の看護事例検討 具体的介入計画の発表		グループワーク		
8	45	大腿骨頸部骨折患者の看護事例検討 具体的介入援助のまとめ		まとめ	まとめ	
【テキスト・参考書・使用教材】 系統看護学講座 専系統看護学講座 専門分野 老年看護学 (医学書院) 系統看護学講座 専門分野 老年看護 病態・疾患論 (医学書院)						

分野	専門分野	授業科目名	小児看護学概論	単位	時間	担当講師
対象学年	1年生	開講時期	後期	1	30	(実務経験あり)
【学習目標】 ○ 小児看護の対象である小児と家族の特性を理解し、小児看護の目的、役割を理解する ライフサイクルにおける小児の特性について理解する					【評価方法】 筆記試験 等	
回数	時間(分)	学 習 内 容		方 法	備 考	
1	90	こどもとは 小児看護の変遷		講義		
2	90	小児の特性 小児看護の目標		講義		
3	90	小児看護の倫理 子どもの人権		講義		
4	90	子どもと家族を取り巻く社会		講義		
5	90	子どもと家族を取り巻く社会		講義		
6	90	赤ちゃんの一年 ビデオ視聴		講義		
7	90	発達評価 (乳幼児 小児の発達課題)		講義		
8	90	小児の成長発達評価 (学童～思春期)		講義		
9	90	小児の成長発達 (乳幼児～学童)		講義		
10	90	小児と栄養 乳幼児		講義		
11	90	小児と栄養 幼児学童		講義		
12	90	小児と遊び 乳幼児		講義		
13	90	小児と遊び 学童		講義		
14	90	思春期(精神的・心理的特徴)		講義		
15	90	総まとめ		講義		
【テキスト・参考書・使用教材】 系統看護学講座 専門分野 小児看護学1 小児看護学概論 小児臨床看護総論 (医学書院)						

分野	専門分野	授業科目名	小児看護学方法論Ⅰ 小児の発達段階を支える看護技術	単位	時間	担当講師
対象学年	2年生	開講時期	前期	1	30	(実務経験あり)
【学習目標】 ○ 小児看護に必要な看護技術を習得する ○ 様々な状況にある小児と家族への看護について理解する					【評価方法】 筆記試験 等	
回数	時間(分)	学 習 内 容		方 法	備 考	
1	90	小児の健康障害 小児医療と健康障害 出生前障害		講義		
2	90	低出生体重児看護		講義		
3	90	循環器疾患		講義		
4	90	消化器疾患 腎臓疾患		講義		
5	90	筋・神経疾患と看護		講義		
6	90	造血疾患 悪性新生物		講義		
7	90	精神機能障害		講義		
8	90	小児の事故 伝染性疾患		講義		
9	90	小児伝染性疾患 入院を必要とする子どもの看護		講義		
10	90	疾病障害をもつ子どもと家族の看護		講義		
11	90	外来小児看護 入院と小児看護		講義		
12	90	急性期の小児看護		講義		
13	90	慢性期の小児看護		講義		
14	90	周手術期の小児看護		講義		
15	90	終末期の子どもと家族の看護		講義		
【テキスト・参考書・使用教材】 系統看護学講座 専門分野 小児看護学1 小児看護学概論 小児臨床看護総論 (医学書院) 系統看護学講座 専門分野 小児看護学2 小児臨床看護各論 (医学書院) こどもの病気の地図帳 (講談社)						

分野	専門分野	授業科目名	小児看護学方法論Ⅱ 健康障害のある小児と家族の看護	単位	時間	担当講師
対象学年	2年生	開講時期	前期～後期	1	30	(実務経験あり)
【学習目標】 ○ 健康障害のある小児と家族の特性と看護を理解する ○ 健康障害の経過と看護について理解する						【評価方法】 筆記試験 等
回数	時間(分)	学 習 内 容		方 法	備 考	
1	90	小児にみられる主症状と看護 不機嫌, 啼泣, 発熱, 痛み		講義		
2	90	小児にみられる主症状と看護 呼吸困難, チアノーゼ, 痙攣, 意識障害		講義		
3	90	小児にみられる主症状と看護 浮腫, 出血		講義		
4	90	小児にみられる主症状と看護 発疹, 貧血, 黄疸		講義		
5	90	活動制限を必要とする小児と家族 (隔離)		講義		
6	90	小児とコミュニケーション 小児看護技術について		講義		
7	90	小児外来トリアージ 看護技術		講義		
8	90	小児看護技術 経過観察		講義		
9	90	小児看護技術 バイタルサイン測定, 与薬		講義		
10	90	小児看護技術 身体拘束, 穿刺 (腰椎・骨髄)		講義		
11	90	看護技術 身体測定, バイタルサイン, 与薬		演習		
12	90	看護技術 体位固定, 抑制, 輸液管理		演習		
13	90	看護技術 吸引, 吸入, 救急蘇生		演習		
14	90	看護技術 吸引, 吸入, 救急蘇生 穿刺 (腰椎・骨髄)		演習		
15	90	小児看護と数値, 計算		講義		
【テキスト・参考書・使用教材】 系統看護学講座 専門分野 小児看護学1 小児看護学概論 小児臨床看護総論 (医学書院) 系統看護学講座 専門分野 小児看護学2 小児臨床看護各論 (医学書院) こどもの病気の地図帳 (講談社)						

分野	専門分野	授業科目名	小児看護学方法論Ⅲ 看護過程の展開	単位	時間	担当講師
対象学年	2年生	開講時期	後期	1	15	(実務経験あり)
【学習目標】 ○ 小児の特性を踏まえた看護過程が展開できる					【評価方法】 筆記試験 レポート	
回数	時間(分)	学 習 内 容		方 法	備 考	
1	90	看護過程		講義		
2	90	看護の展開 (小児事例を使って)		講義		
3	90	看護の展開 (ロイの看護理論, 生理的様式)		講義		
4	90	看護の展開 (生理的様式, 自己概念様式)		講義		
5	90	看護の展開 看護診断の導き		講義		
6	90	看護の展開 関連図, 看護計画		講義		
7	90	看護の展開 看護計画, 目標		講義		
8	45	看護過程と看護記録		講義		
【テキスト・参考書・使用教材】 系統看護学講座 専門分野 小児看護学1 小児看護学概論 小児臨床看護総論 (医学書院) 系統看護学講座 専門分野 小児看護学2 小児臨床看護各論 (医学書院) 看護診断ハンドブック (医学書院)						

分野	専門分野	授業科目名	母性看護学概論	単位	時間	担当講師
対象学年	1年生	開講時期	後期	1	30	(実務経験あり)
【学習目標】 ○ 人の性を理解し、母性看護の概念とリプロダクティブヘルス/ライツの考え方を理解する ○ 女性の健康の意識及び健康に影響を及ぼす要因について理解する ○ 女性のライフステージ各期における健康課題と看護を理解する ○ 自己の母性観・父性観を深めることができる						【評価方法】 筆記試験 等
回数	時間(分)	学 習 内 容		方 法	備 考	
1	90	母性看護の変遷		講義		
2	90	母性看護における主要概念		講義		
3	90	ヒューマンセクシャリティ		講義		
4	90	母子保健統計		講義		
5	90	母性看護に関する法律施策		講義		
6	90	女性のライフステージ各期における健康問題		講義		
7	90	母性の看護過程の展開		講義		
8	90	母性の看護過程の展開		講義		
9	90	思春期女性の特徴と健康問題		講義		
10	90	思春期女性の特徴と健康問題		講義		
11	90	性成熟期の女性の特徴と健康問題		講義		
12	90	老年期の女性の特徴と健康問題		講義		
13	90	母性観・父性観(1)		GW		
14	90	母性観・父性観(2)		発表		
15	90	総まとめ		講義		
【テキスト・参考書・使用教材】 系統看護学講座 専門分野 母性看護学1 母性看護学概論 (医学書院) 系統看護学講座 専門分野 母性看護学2 母性看護学各論 (医学書院) 国民衛生の動向 (厚生統計協会)						

分野	専門分野	授業科目名	母性看護学方法論Ⅰ 妊婦・産婦の看護	単位	時間	担当講師
対象学年	2年生	開講時期	前期	1	30	(実務経験あり)
【学習目標】 ○ 周産期における正常な妊娠・分娩・産褥の経過及び正常新生児の生理を理解する ○ 生理現象としての妊娠・分娩・産褥が対象に及ぼす影響を理解する ○ ハイリスクな状況にある妊娠・分娩・産褥・新生児の病態・症状及び治療を理解する						【評価方法】 筆記試験 等
回数	時間(分)	学 習 内 容		方 法	備 考	
1	90	正常な妊娠経過		講義		
2	90	正常な妊娠経過		講義		
3	90	正常分娩		講義		
4	90	正常分娩		講義		
5	90	正常な産褥経過		講義		
6	90	正常な新生児の生理		講義		
7	90	ハイリスク状況にある妊婦		講義		
8	90	ハイリスク状況にある妊婦		講義		
9	90	合併症妊娠		講義		
10	90	合併症妊娠 ハイリスクな状況にある産婦		講義		
11	90	ハイリスクな状況にある産婦		講義		
12	90	ハイリスクな状況にある褥婦		講義		
13	90	ハイリスクな状況にある新生児		講義		
14	90	ハイリスクな状況にある新生児		講義		
15	90	全体の復習 確認		講義		
【テキスト・参考書・使用教材】 系統看護学講座 専門分野 母性看護学1 母性看護学概論 (医学書院) 系統看護学講座 専門分野 母性看護学2 母性看護学各論 (医学書院) 国民衛生の動向 (厚生統計協会)						

分野	専門分野	授業科目名	母性看護学方法論Ⅱ 褥婦と新生児の看護	単位	時間	担当講師
対象学年	2年生	開講時期	前期～後期	1	30	(実務経験あり)
【学習目標】 ○ 正常な妊娠・分娩・産褥・新生児期の経過に応じた援助を理解する ○ ハイリスクな状況にある妊娠・分娩・産褥・新生児期に応じた援助を理解する ○ 母子関係を確立していくために必要なソーシャルサポートや社会資源の活用を理解する						【評価方法】 筆記試験 等
回数	時間(分)	学 習 内 容		方 法	備 考	
1	90	母性看護学方法論Ⅱ 周産期にある母子看護 パンフレット作り		講義・GW		
2	90			講義・GW		
3	90	沐浴実習 新生児の取り扱い		講義・GW		
4	90			講義・GW		
5	90	母性看護学方法論Ⅱ 周産期にある母子看護 パンフレット作り		講義・GW		
6	90			講義・GW		
7	90	母親学級 退院指導 沐浴指導等進め方 パンフレット作り		講義・GW		
8	90			講義・GW		
9	90	乳房マッサージ法 レオポルト法 資料作り		講義・GW		
10	90			講義・GW		
11	90	クラスの組み立て方 発表の手法 パンフレット作り		講義・GW		
12	90			講義・GW		
13	90			講義・GW		
14	90	母性看護学方法論Ⅱ (クラス発表)		講義・GW		
15	90			講義・GW		
【テキスト・参考書・使用教材】 系統看護学講座 専門分野 母性看護学1 母性看護学概論 (医学書院) 系統看護学講座 専門分野 母性看護学2 母性看護学各論 (医学書院)						

分野	専門分野	授業科目名	母性看護学方法論Ⅲ 看護過程の展開	単位	時間	担当講師
対象学年	2年生	開講時期	後期	1	15	(実務経験あり)
【学習目標】 ○ 母性看護における看護過程の展開について他の看護領域との共通性と異質性を理解する						【評価方法】 筆記試験 等
回数	時間(分)	学 習 内 容		方 法	備 考	
1	90	母性看護計画立案のポイント 導入編		講義		
2	90			講義		
3	90	分娩第1期～第4期の看護 アセスメント, ケアプラン		講義		
4	90			講義		
5	90	母性看護アセスメント, ケアプラン 産後当日～1日目		講義		
6	90	産褥期1～5日までの アセスメント, ケアプラン		講義		
7	90			講義		
8	45	まとめ		講義		
【テキスト・参考書・使用教材】 系統看護学講座 専門分野 母性看護学1 母性看護学概論 (医学書院) 系統看護学講座 専門分野 母性看護学2 母性看護学各論 (医学書院) 国民衛生の動向 (厚生統計協会)						

分野	専門分野	授業科目名	精神看護学概論	単位	時間	担当講師
対象学年	1年生	開講時期	後期	1	30	(実務経験あり)
【学習目標】 ○ 精神医療や精神看護の概念をとらえ、関係する法律や制度を理解する ○ 精神保健医療施設の役割とその機能を理解する ○ 地域社会における精神保健について理解する ○ 人間の心の成長発達とその関連問題を理解する						【評価方法】 筆記試験：90点 課題提出：10点 /合計：100点
回数	時間(分)	学 習 内 容		方 法	備 考	
1	90	精神看護学の基本概念 (意義・目的の理解)		講義		
2	90	社会の動向と精神医療 (偏見・差別)		講義		
3	90	精神医療の変遷 精神看護の倫理と法・精神保健福祉法		講義		
4	90	心の構造と機能 (フロイトの精神分析他)		講義		
5	90	心の健康と発達 (適応とは)		講義		
6	90	環境と適応 (ストレスとリラクゼーション)		講義・演習		
7	90	ライフサイクルにおける心の健康		演習		
8	90			演習		
9	90	生活の場と心の健康 (家庭・学校・職場・地域)		講義		
10	90	リエゾン精神医学・リエゾン看護 (一般科との連携)		講義		
11	90	薬物と心の健康		ビデオ視聴		
12	90	終末期の心の健康 (死の受容、手記など利用して考える機会とする)		講義		
13	90	地域精神保健活動 (わが国と国際的な流れ、ノーマライゼーション)		講義		
14	90	精神保健福祉に関する法整備		講義		
15	90	社会復帰への支援 (社会復帰を支援する施設の役割)		講義		
【テキスト・参考書・使用教材】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学1 (医学書院) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学2 (医学書院) 吉松和哉他編 精神看護学Ⅰ 精神保健学 (ヌーヴェルヒロカワ) 松下正明他監 新クイックマスター 精神看護学 (医学芸術社) 根拠がわかる 精神看護技術 (メジカルフレンド社)						

分野	専門分野	授業科目名	精神看護学方法論 I 心の健康に障害がある人の自立支援	単位	時間	担当講師
対象学年	2年生	開講時期	前期	1	30	(実務経験あり)
【学習目標】 ○ 精神症状や精神に障害のある人への状態に応じた看護について理解する						【評価方法】 筆記試験 等
回数	時間(分)	学 習 内 容		方 法	備 考	
1	90	心のケアと現代社会 精神看護学		講義		
2	90	心のケアと現代社会 精神科の特殊性について		講義		
3	90	治療環境と安全		講義		
4	90	治療環境と看護		講義		
5	90	治療環境と看護 薬物療法と看護		講義		
6	90	症状及び障害		講義		
7	90	検査について		講義		
8	90	治療①		講義		
9	90	治療②		講義		
10	90	統合失調症の看護		講義		
11	90	気分障害患者の看護		講義		
12	90	認知症の看護		講義		
13	90	神経症性障害、ストレス関連障害患者の看護		講義		
14	90	パーソナリティ障害、アルコール症、薬物依存患者の看護		講義		
15	90	まとめ		講義		
【テキスト・参考書・使用教材】 系統看護学講座 専系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学1 (医学書院) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学2 (医学書院)						

分野	専門分野	授業科目名	精神看護学方法論Ⅱ 精神看護特有な看護技術	単位	時間	担当講師
対象学年	2年生	開講時期	前期	1	30	(実務経験あり)
【学習目標】						【評価方法】
<ul style="list-style-type: none"> ○ 人間関係成立に必要な知識・技術を理解する ○ 患者-看護師関係の治療的人間関係形成技術の基礎を理解する 						筆記試験 等
回数	時間(分)	学 習 内 容		方 法	備 考	
1	90	精神科病院における心理的な援助技法①		講義		
2	90	精神科病院における心理的な援助技法②		講義		
3	90	精神科リハビリテーションⅠ		講義		
4	90	精神科リハビリテーションⅡ		講義		
5	90	様々な回復のためのプログラム(SST)		講義		
6	90	SST演習		講義・演習		
7	90	精神科における日常生活を支える援助		講義		
8	90	精神科における日常生活を支える援助		講義		
9	90	精神看護とコミュニケーション		講義		
10	90	精神看護とコミュニケーション		GW		
11	90	精神看護とコミュニケーション		共有学習		
12	90	精神看護とコミュニケーション		共有学習		
13	90	プロセスレコードの実際について		講義/GW		
14	90	プロセスレコードの実際Ⅰ		GW		
15	90	プロセスレコードの実際Ⅱ		講義		
【テキスト・参考書・使用教材】						
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学1 (医学書院) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学2 (医学書院)						

分野	専門分野	授業科目名	精神看護学方法論Ⅲ 看護過程の展開	単位	時間	担当講師
対象学年	2年生	開講時期	後期	1	15	(実務経験あり)
【学習目標】 ○ 入院生活上の問題と援助について理解する						【評価方法】 看護過程の展開 ：60点 筆記試験：40点 /合計：100点
回数	時間(分)	学 習 内 容		方 法	備 考	
1	90	統合失調症の事例の理解		講義		
2	90	行動のアセスメント		演習		
3	90	行動のアセスメント		演習		
4	90	刺激のアセスメント		演習		
5	90	関連図の理解		演習		
6	90	看護診断		演習		
7	90	介入計画の理解		演習		
8	45	事例発表 (各グループ)		演習		
【テキスト・参考書・使用教材】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学1 (医学書院) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学2 (医学書院) 吉松和哉他編 精神看護学Ⅰ 精神保健学 (ヌーヴェルヒロカワ) 松下正明他監 新クイックマスター 精神看護学 (医学芸術社) 根拠がわかる 精神看護技術 (メジカルフレンド社)						

分野	専門分野	授業科目名	看護管理	単位	時間	担当講師
対象学年	3年生	開講時期	前期～後期	1	15	(実務経験あり)
【学習目標】 ○ 看護管理の目的・方法を学び看護管理システムと医療、安全対策を理解する						【評価方法】 筆記試験 等
回数	時間(分)	学 習 内 容		方 法	備 考	
1	90	管理とは 看護管理とは		講義		
2	90	看護ケアのマネジメント		講義		
3	90	患者の権利の擁護者として患者、家族が参加できる医療		講義		
4	90	組織とは マネジメントとは リーダーシップとは		講義		
5	90	人的資源のマネジメント		講義		
6	90	チーム医療		講義		
7	90	医療看護の質の評価		講義		
8	45	管理とは		講義		
【テキスト・参考書・使用教材】 統系統看護学講座 統合分野 看護の統合と実践1 看護管理 (医学書院)						

分野	専門分野	授業科目名	災害看護	単位	時間	担当講師
対象学年	3年生	開講時期	後期	1	30	(実務経験あり)
【学習目標】 ○ 災害看護の実践に結び靴基礎的知識を理解し、技術・態度・行動力を習得する						【評価方法】 筆記試験 等
回数	時間(分)	学 習 内 容		方 法	備 考	
1	90	災害看護座学、災害サイクル、国政災害拠点病院、病態		講義		
2	90	災害と情報、危機管理、法律と県政クロスロードゲーム		講義・演習		
3	90	災害時 急性・中期・長期の看護		講義		
4	90	CSCATTT DMATとは 災害医療の実際		講義		
5	90	トリアージ (演習) トリアージTAG		講義 グループワーク		
6	90	机上訓練 (災害時の活動) 公衆衛生 ストレスケア、心のケア		講義 演習		
7	90					
8	90	BLS、ACLSについて		講義		
9	90	迅速評価 一次評価 呼吸困難の患者対応		講義		
10	90	呼吸困難、胸痛の対応		講義・演習		
11	90					
12	90	ショック、めまい、電解質異常 腹痛の対応		講義・演習		
13	90					
14	90	脳神経、外傷、家族への対応		講義・演習		
15	90					
【テキスト・参考書・使用教材】 系統看護学講座 統合分野 災害看護学・国際看護学 (医学書院) 系統看護学講座 別巻 救急看護学 (医学書院)						

分野	専門分野	授業科目名	国際看護	単位	時間	担当講師
対象学年	2年生	開講時期	後期	1	15	(実務経験あり)
【学習目標】 ○ 国際看護および国際協力について理解する					【評価方法】 筆記試験 等	
回数	時間(分)	学 習 内 容		方 法	備 考	
1	90	国際看護における対象のとらえ方		講義		
2	90	国際看護学の対象		講義		
3	90	プライマリヘルスケア ヘルスプロモーション		講義		
4	90	国際協力の仕組み 国際協力に関する機関		講義		
5	90	国際協力に必要な基本的能力・まとめ		講義		
6	90	国際協力と看護活動		講義		
7	90	演習		講義		
8	45	まとめ		講義		
【テキスト・参考書・使用教材】 系統看護学講座 統合分野 災害看護学・国際看護学 (医学書院)						

分野	専門分野	授業科目名	臨床推論	単位	時間	担当講師
対象学年	3年生	開講時期	前期	1	30	(実務経験あり)
【学習目標】 ○ 既習の知識・看護技術を統合し、対象患者の状態や状況にあった援助を実施する。 ○ 看護実践能力の評価（OSCE）を行い、看護実践における自己の課題を明確にする。						【評価方法】 筆記試験 30点 実技試験 50点 レポート 20点
回数	時間(分)	学 習 内 容		方 法	備 考	
1	90	臨床看護の実践について 社会人基礎力 リーダーシップ・メンバーシップ		講義 G.W.		
2	90	医療安全と倫理的態度 行動目標の立て方		講義 G.W.		
3	90	1日の業務の組み立て		講義 G.W.		
4	90	事例患者（脳出血）事例展開① 行動計画		講義・G.W.	演習計画書	
5	90	事例患者（脳出血）事例展開② 看護実践		演習・G.W.	演習計画書 (振り返り)	
6	90	事例患者（脳出血）事例展開② 看護実践		演習・G.W.	演習計画書 (振り返り)	
7	90	多重課題とは？ ケアの優先順位 多重課題をクリアにする		講義・G.W.		
8	90	チームワークとコミュニケーション①		講義・G.W.		
9	90	コミュニケーション② 事例患者の理解「情報収集」「複数患者の看護実践計画」		G.W.		
10	90	OSCEの理解 プレOSCE① 実践計画書作成		G.W.		
11	90	プレOSCE② 実施		学内演習		
12	90	プレOSCE② 実施		学内演習		
13	90	OSCE実施 ① 前半		実技試験	リフレクションシート	
14	90	OSCE実施 ② 後半		実技試験	リフレクションシート	
15	90	OSCE振り返り		ビデオ学習	自己評価・ワークシート	
【テキスト・参考書・使用教材】 指定なし。事例に応じたテキストを準備。スマートフォン持込可						